

平成 29 年度 特定課題研究費研究報告書

研究代表者	所属	一般科目	職	教授	氏名	河野 有時
研究分担者	所属	一般科目	職	教授	氏名	永井 誠
	所属	一般科目	職	准教授	氏名	豊島 雅幸
研究課題名	(和文) 「課題研究」におけるアクティブ・ラーニングの教材開発と授業研究 (英文) Development of the Teaching Materials for Active Learning in "Task-based Studies" and the Classroom Research					
研究種目	教育課題研究					
研究実績の概要						
<p>本研究は、平成29年度より開講される授業「課題研究」における教材開発と授業研究を目的とした。</p> <p>「課題研究」は、編入学や専攻科への進学を考えている学生を対象として、新たに導入されたアクティブ・ラーニング形式の選択科目で、永井、河野、豊島の3人が担当した。それぞれの課題は「多角的な日英語比較研究」「ジャパニーズホラーの研究」「有機物質の合成と同定」であり、学生は課題に沿って、学習・調査・研究し、その報告を行なった。</p> <p>本研究では、「課題研究」の授業がスタートする前に、担当の各教員がそのテーマに則した、教材の開発や準備を行ない、開講後は授業の進度に合わせて、授業改善を行っている。永井「多角的な日英語比較研究」では、日本語の小説とコミックそれぞれ5点を選びその英訳本との対比の中で、学生の考えた三つの切り口から日英語の相違点及び共通点をまとめた。河野「ジャパニーズホラーの研究」では、中田秀夫「リング」(1998)とハリウッドリメイク「ザ・リング」を比較し、各班は恐怖やその表現の違いから文化の差異について考察を行った。豊島「有機物質の合成と同定」では親水性高分子の合成、解析を通じて、化学的な物質の解析法を理解するとともに、得られた知見を応用して未知物質の考察を行った</p> <p>これらにより、「課題研究」は基礎学力の育成と、応用に新しい可能性を開いたと思われる。</p>						
研究発表(論文、著書、講演等)						
その他(教育活動・OPCへの貢献、特許等)						
<p>学生は課題に沿って、学習・調査・研究し、その報告を行なって、自主的・継続的に学習する能力を養うことができた。本校としては、「学習・教育到達目標」の項目「A」との関連付けによって、より確かな教育が実践されているとの評価を得られると期待される。</p>						